

番 号 : 130803

国 名 : 全世界

担当部署 : 農村開発部計画・調整課

案件名 : 平成25年度貧困農民支援(2KR)準備調査(ブータン、ガーナ)(貧困農民支援)

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : 貧困農民支援
- (2) 格 付 : 3号
- (3) 業務の種類 : 調査団参団

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2013年10月上旬から2014年1月中旬まで
- (2) 業務M/M : 国内 1. 60M/M、現地 0. 53M/M、合計 2. 13M/M
- (3) 業務日数 : 準備期間 現地業務期間 整理期間 M/M  
ブータン 8日 7日 8日 1. 03  
ガーナ 8日 9日 8日 1. 10

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、場所

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 : 正1部、写4部
- (2) 見積書提出部数 : 正1部、写1部
- (3) 提出期限 : 8月28日(12時まで)
- (4) 提出場所 : 調達部受付(JICA本部1F)

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針 :
  - 1) 業務方針の的確性 6点
  - 2) 業務方法の整合性、現実性等 12点
  - 3) 当該業務実施上のバックアップ体制 2点
- (2) 業務従事者の経験能力等 :
  - 1) 類似業務<sup>注1)</sup>の経験 40点
  - 2) 対象国又は同近隣地域若しくは同類似地域<sup>注2)</sup>での業務経験 8点
  - 3) 語学力<sup>注3)</sup> 16点
  - 4) その他学位、資格等 16点

(計100点)

注1) 類似業務 : 2KRまたは農業機械の調達・積算に係る各種調査

注2) 対象国/類似地域 : ブータン・ガーナ/全途上国

注3) 語学の種類 : 英語

### 5. 条件等

(1) 参加資格のない社等 : 本調査を受注した社は、本体の調達代理機関としての推薦を受けることが出来ません。

(2) 必要予防接種 : 黄熱 : 入国に際してイエローカード(黄熱病予防接種証明書)が必要です。(ガーナ)

## 6. 業務の背景

国連食料農業機関(FAO)によると、2008 年前半にピークとなった食料価格の高騰及びその後の世界不況の影響により、世界の食料安全保障は悪化を続けており、世界の栄養不足人口は、2009 年には 10 億人を越えたと推定されている。そのうち、約 75% が農村居住者と推定されており、栄養不足は多くの場合、貧困による食料不足に起因している。

我が国政府は、「開発途上国における食料不足問題は当該国の自助努力により解決されることが重要」との考え方に立ち、被援助国政府が食料増産を行うために必要な農業生産用資機材の調達のための無償資金協力として「食糧増産援助(以下「2KR」)」を 1977 年度に開始した。その後、ODA を取り巻く外部環境等の変化に伴い、農薬調達の原則廃止、より詳細な事前調査の実施などを含む 2KR の「見直し」を 2002 年 12 月に発表した。その後、2003 年には見返り資金の外部監査の導入、見返り資金の小農・貧困支援への優先使用、四半期に一度の意見交換会の制度化、現地ステークホルダーの参加機会の確保が 2KR の実施に必要な新たな条件として加えられた。また、2KR の裨益対象を貧困農民・小農により明確化することを意図して、2005 年度から「貧困農民支援」に名称を変更した。

2013 年度の調査対象国は、ミャンマー、ブータン、エチオピア、セネガル、タンザニア、ハイチ、ガーナの 7 か国である。

本調査は、上記の調査対象国のブータンとガーナを対象とした調査であり、貧困農民支援実施の妥当性を確認するため必要な情報を収集し検討・整理することを目的として実施する。

## 7. 業務の内容

本業務の業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、他の業務従事者や調査団員として派遣される機構職員等と協議・調整しつつ、担当分野に係る協力計画策定のために必要な以下の調査を行う。また、本業務従事者は、他の課題を担当業務とする業務従事者が作成する報告書(案)を含めた報告書(案)全体の取りまとめを行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

コンサルタント団員は、貧困農民支援(2KR)の仕組み及び手続きを十分把握の上、対象国における 2KR 実施の是非を検討するために必要な情報を収集し、検討・整理する。また、対象国から要請された資機材(ブータン、ガーナ共に農機)等の妥当性を検討し、資機材計画を策定するとともに、概算事業費の積算を行う。

<ブータン・ガーナ>

1) 国内準備期間(国内解析)(ブータン:2013年9月下旬~2013年10月上旬、ガーナ:2013年10月下旬)

ア. JICA と協議を行い現状確認および調査の方針を確認し、必要に応じて、助言を行う。

イ. インセプションレポート、質問状の作成を行う。

ウ. 見返り資金の積立状況、管理体制・状況、使用計画・実績について、最新の状況を把握するとともに、必要に応じて JICA 団員と協力して対応する。

エ. 調達先国、調達にかかる諸制度・手続き、調達条件、調達スケジュール、関連機関の役割分担等の調達計画にかかる事項を確認する。

- オ. 入札図書作成にかかる先方関係機関の意向を確認するとともに、調達上の留意事項を確認する。
  - カ. モニタリング・評価体制について把握する。
  - キ. 外部監査の導入、ステークホルダーの参加機会の確保、連絡協議会、広報等にかかる説明をするとともに、実施状況を確認する。
  - ク. 過去の2KRにかかる実施状況（コミッティにおける協議事項のフォロー状況を含む）を把握し、必要に応じてJICA 団員と協力して対応する。
  - ケ. 上記担当事項の調査結果について、JICA 事務所の収集情報（国内農業セクター状況、政府側の体制、協議結果等の要請背景詳細他）も踏まえて、本要請内容を整理し、担当分野（農業セクターの課題、要請品目、数量、スケジュール、調達先国、見返り資金の管理体制、モニタリング・評価体制、広報、その他）に係る報告書(案)を作成する。
  - コ. 概算事業費積算に必要な情報（肥料の国際価格調査、調達コスト、数量や調達可能国の選定等）を収集・分析し、概算事業費（調達代理費を含む）を積算する。
    - (ア) 要請品目詳細（スペック、数量、用途、等）の確認
    - (イ) 要請品目詳細のスペックの検討
    - (ウ) 要請品目の各メーカーへの照会等
    - (エ) 要請品目の調達条件に関する先方政府の意向を確認
    - (オ) 要請品目詳細の調達方法の検討
    - (カ) 要請品目の見積もり取付
    - (キ) 要請品目の価格分析（2KR 過去実績、市場価格、実施機関等での調達実績価格等）
    - (ク) 要請品目詳細の数量の検討
    - (ケ) 要請品目の概算の積算
  - サ. 上記の調査結果を踏まえて、当該協力を実施する上で必要となる調達監理計画（調達代理費を含む）を作成し、農村開発部へ提出する
  - シ. 上記の調査結果を踏まえて、実施上の留意事項について助言を行なう。
  - ス. 概要資料（財務実行協議資料）案を作成する。
  - セ. 同一地域等の先行案件がある場合、当該先行案件の実施上の課題について、担当した調達代理機関にヒアリングを行う。
  - ソ. 上記の作成を国内解析のみで実施するとともに、適宜、必要な助言・補助業務をJICA に対して行う。
- 2) 現地派遣期間（ブータン：2013 年 10 月上旬～2013 年 10 月中旬、ガーナ：2013 年 10 月下旬～2013 年 11 月上旬）
- タ. 予め配布した質問票の回答を踏まえつつ、先方関係機関と協議、現地視察等を行い、以下について基礎情報の収集、現状調査および課題分析を行う。
    - (ア) 上位計画（農業セクター開発計画、貧困削減戦略、農業施策等）
    - (イ) 貧困農民・小規模農民に着実に資材を配布する方策
    - (ウ) 配布状況のモニタリング体制
    - (エ) 実施のモニタリング・評価体制
    - (オ) 貧困農民・小規模農民を対象としたアウトカムレベルのデータ指標（生産量、単収等）の収集

- 3) 帰国後整理期間（ブータン：2013年10月中旬～2014年1月上旬、ガーナ：2013年11月上旬～2014年1月上旬）
- チ. 担当業務における現地調査結果を取りまとめ、別途指定する様式に基づき、以下の書類を作成し、2013年11月中旬までにJICA農村開発部へ提出する。
- （ア）概要資料案（概算事業費の積算）
  - （イ）積算内訳書（和文）
  - （ウ）機材仕様書（和文）
- ツ. 報告会等に参加し、担当分野の調査結果を報告する。
- テ. シ. で提出した（ウ）概要資料案（概算事業費の積算）、（エ）積算内訳書（和文版2部）、（オ）機材仕様書（和文版2部）について、JICA資金協力支援部設計・積算審査室からの照会等に対応する。
- ト. 以下の資料を作成する。
- （エ） 調査報告書案（和文）
  - （オ） 事前評価表案（案件計画調書②）

## 8. 成果品等

本契約における成果品は以下のとおり。

- （ア）概要資料案（概算事業費の積算）
  - （イ）積算内訳書（和文）
  - （ウ）機材仕様書（和文）
  - （エ） 調査報告書案（和文）
  - （オ） 事前評価表案（案件計画調書②）
- （電子データ（CD-R）、および、簡易製本（1冊）による提出）

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成の手引き」

（<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>）を参照願います。留意点は以下のとおりです。

### （1）航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、当機構より別途支給します（見積書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載下さい）。

## 10. 特記事項

### （1）業務日程／執務環境

#### 1) 現地業務日程

現地派遣期間に関しブータンは2013年10月6日～10月12日、ガーナは10月26日～11月3日を予定しています。

#### 2) 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

#### 【ブータン】

- a) 総括（JICA）
- b) 貧困農民支援（コンサルタント）
- c) （2KR基礎情報収集調査（後方支援））

## 【ガーナ】

- a) 総括 (JICA)
- b) 計画管理 (JICA)
- c) 貧困農民支援 (コンサルタント)
- d) (2KR基礎情報収集調査 (後方支援))

### 3) 便宜供与内容

- ① 上述の調査の実施に当たっては、別途、備上されている「2KR基礎情報収集調査」のコンサルタントから積算を中心とした支援を受ける。
- ② 本調査において、現地でしか対応できない事項については、JICA現地事務所の支援を受ける。

## (2) 参考資料

本業務に関する以下の資料は以下の通り。

- ① 過去の2KR調査報告書 (JICA 図書館ポータルサイトからダウンロード可能。但し、平成24年度ガーナ2KR調査報告書が未公開であるため、貸与資料となる)
- ② 「協力準備調査設計・積算マニュアル(試行版)」及び「協力準備調査設計・積算マニュアル(試行版)「機材編」」含 (JICAHP からダウンロード可能)
- ③ 「概要資料」(雛形)(貸与資料)
- ④ 「平成25年度貧困農民支援(2KR)情報収集・確認調査」公示情報 (TOR 含)(JICAHP からダウンロード可能)
- ⑤ 概略事業費積算マニュアル(学校建築編、試行版)」(JICAHP からダウンロード可能)

貸与資料連絡先：農村開発部計画・調整課/03-5226-8412

## (3) その他

- 1) 業務実施契約(単独型)については、単独(1名)の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます(冒頭留意事項参照)。
- 2) 国内での活動においては、JICA安全管理措置を遵守するとともに、JICA総務部安全管理室、JICA事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとします。
- 3) 尚、上記の積算については、JICA資金協力支援部設計・積算審査室の各種指示・情報(「協力準備調査設計・積算マニュアル(試行版)」及び「協力準備調査設計・積算マニュアル(試行版)「機材編」」含)に基づき、対応する。
- 4) 調査対象の地域/州は先方要請書等を踏まえ決定する。